

(平成17年4月分)

種 類	市況の概要
野 菜	<p>春野菜は昨年の台風被害による再植の影響と、年明け以降の低温・天候不順により生育に遅れが見られた。今月に入り気温の上昇とともに、微増傾向が出てきたが、全体として入荷量は、前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は、入荷量の減少から前年同期を13%上回った。</p> <p>品目別には、ほうれんそう、トマト、ピーマン、長大根、ばれいしょ、たまねぎ、たけのこが、生育期の天候不順によって不作となったことから入荷減となり、価格は前年同期を上回った。キャベツ、きゅうりは、前年並みの入荷量であったが、価格は前年同期を上回った。はくさいは、入荷増となり、価格は前年同期を下回った。レタスは、入荷増であったが、価格は前年並みであった。</p> <p>葉菜類は、入荷はほぼ前年並みで、価格は8%高となった。</p> <p>果菜類は、入荷が6%減少し、価格は17%高となった。</p> <p>根菜類は、入荷が9%減少し、価格は25%高となった。</p> <p>土物類は、入荷が11%減少し、価格は11%高となった。</p>
果 実	<p>入荷量は、柑橘類、いちごについては微増、りんごについては微減であったが、メロン類が生育期の天候不順により、大きく入荷減となり、全体としては、前年同期を10%下回る入荷となった。</p> <p>価格は、入荷減と果実全般の単価高傾向により、前年同期を24%上回った。</p> <p>柑橘類は、入荷が3%増加し、価格は11%高となった。</p> <p>りんごは、入荷が3%減少し、価格は20%高となった。</p> <p>いちごは、入荷が4%増加し、価格は25%高となった。</p> <p>メロンは、入荷が40%減少し、価格は32%高となった。</p>

	市況の概要
はくさい	<p>茨城の秋冬物を中心に，長崎，熊本，鹿児島九州産の春物の入荷。茨城産は生育期の低温・早魓の影響で小玉傾向だが，全体では前年同期を7%上回る入荷となった。</p> <p>価格は，入荷増と品質低下により前年同期を9%下回った。</p>
ほうれんそう	<p>京都，徳島を中心に入荷。3月の低温と4月の早魓の影響で生育は悪く，入荷量は，前年同期を17%下回った。</p> <p>価格は，入荷減のため，前年同期を14%上回った。</p>
キャベツ	<p>愛知を中心に神奈川，兵庫，和歌山からの入荷。各産地共に低温の影響で生育が遅れていたが，中旬以降に出荷量も持ち直し，全体としてほぼ前年並みの入荷量となった。</p> <p>価格は，順調な消費となり，安値であった前年同期を52%上回った。</p>
レタス	<p>兵庫を中心に，茨城，長崎，徳島からの入荷。各産地共に中旬以降大玉傾向での出荷となり，前年同期を7%上回る入荷となった。</p> <p>価格は，量販店の春物特売と加工業務の需要が強くなり，前年並みで推移した。</p>
きゅうり	<p>宮崎を中心に滋賀，高知からの入荷。中旬以降，宮崎の春型を中心に増加し，全体としては前年並みの入荷量となった。</p> <p>価格は，中旬以降下落したものの下旬の高値もあって，全体としては前年同期を18%上回った。</p>
トマト	<p>熊本を中心に福岡，三重からの入荷。九州産の定植遅れと生育不順，小玉傾向により，前年同期を14%下回る入荷となった。</p> <p>価格は，入荷減のため前年同期を29%上回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎を中心に高知，茨城からの入荷。3月までの天候不順により前半の入荷量は減少し，後半から急増したものの全体としては前年同期を14%下回る入荷となった。</p> <p>価格は，入荷減によって，安値であった前年同期を46%上回った。</p>

<p>長大根</p>	<p>長崎を中心に滋賀，鹿児島，福岡からの入荷。天候不順で各産地とも生育が遅れ太りが悪く，前年同期を16%下回る入荷となった。 価格は，入荷減によって，前年同期を8%上回った。</p>
<p>ばれいしょ (メイクインを含む)</p>	<p>鹿児島，北海道を中心に，長崎，宮崎からの入荷。九州産の2月の長雨と3月の霜・降雪の影響により，全体として入荷量は前年同期を22%下回る入荷となった。 価格は，入荷減によって，前年同期を20%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>長崎，北海道を中心に，佐賀，静岡からの入荷。新物は台風被害と生育遅れによる小玉傾向があり，入荷量は前年同期を8%下回った。 価格は，入荷減によって，前年同期を39%上回った。</p>
<p>たけのこ</p>	<p>京都を中心に徳島，福岡からの入荷。昨年夏の乾燥と台風被害に加えて，春先の天候不順により，前年同期を10%下回る入荷となった。 価格は，入荷減によって高値販売となり，前年同期を50%上回った。</p>

	市況の概要
甘夏柑	<p>熊本を中心に愛媛，福岡，和歌山からの入荷。</p> <p>九州産は大玉果の比率が高く，前年同期を7%上回る入荷となった。</p> <p>価格は，競合するグレープフルーツ等の外国産柑橘類の入荷激減で需要が集中し，前年同期を14%上回った。</p>
ふじ (サンふじ含む)	<p>青森の貯蔵物を中心に入荷。競合品目の品薄感から前倒し出荷され，前年同期を21%上回る入荷となった。</p> <p>価格は，入荷増となったものの，品質の良好さと前月からの高値もあって，前年同期を41%上回った。</p>
アールス	<p>静岡を中心に高知，宮崎，熊本からの入荷。九州産の出荷量が減少し，全体では前年同期を16%下回る入荷となった。</p> <p>価格は，入荷減と他メロン類も生育遅れにより出荷量が増えなかったことと，消費も順調であり，前年同期を26%上回った</p>
いちご	<p>福岡，熊本，大分，愛媛等からの入荷。品種の更新による新品種の入荷増により，全体としては，前年同期を4%上回る入荷となった。</p> <p>価格は，品質の良好さとメロン類の出遅れにより，前年同期を25%上回った。</p>